



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL http://phoenixbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 藏本 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	899	12.5	81	△9.3	72	△14.6	67	△5.4
28年3月期第3四半期	799	—	89	—	84	—	71	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 72百万円 (0.5%) 28年3月期第3四半期 71百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.32	23.09
28年3月期第3四半期	28.17	—

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成28年3月期より行っているため、平成28年3月期第3四半期の増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、平成28年3月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,370	2,047	86.4
28年3月期	2,337	1,975	84.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,047百万円 28年3月期 1,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,273	4.7	203	6.8	180	20.9	155	24.2	53.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	2,888,300株	28年3月期	2,888,300株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	2,888,300株	28年3月期3Q	2,526,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、英国のEU離脱問題や米国新政権の政策の不確実性などの影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、後発品との競争激化、製品開発の停滞、保険料の財政圧迫に起因する価格値下げ圧力等により製薬企業の収益性は低下する一方、膨大な開発費負担が生じる新薬開発への投資効率を高める目的でM&Aによる業界再編が依然活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社グループがターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループが提供するPXBマウスを使用した肝炎試験（薬効評価）については、B型肝炎の治療薬開発を行っている製薬企業から引き合いは多くあるものの、上半期における一部試験開始の遅れが売上高に影響しました。また、DMPK/Tox試験（薬物動態関連試験、安全性試験）については、肝炎試験と比較して多くの新薬が対象になり得ることから今後の成長分野として位置付けており、各製薬企業に対して営業活動を行うとともに、PXBマウスの有用性を共同で研究するコンソーシアムの活動を開始しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は899,599千円（前年同期比12.5%増）、営業利益は81,202千円（前年同期比9.3%減）、経常利益は72,304千円（前年同期比14.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67,350千円（前年同期比5.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,904,303千円となり、前連結会計年度末に比べ16,427千円増加いたしました。これは主に売掛金が68,280千円増加した一方で、現金及び預金が54,771千円減少ことによるものです。また固定資産は465,791千円となり、前連結会計年度末に比べ16,218千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が6,015千円、リース資産が5,929千円、それぞれ増加したことによるものです。この結果、資産合計は2,370,095千円となり、前連結会計年度末に比べ32,645千円増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は166,720千円となり、前連結会計年度に比べ52,127千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が23,168千円、買掛金が20,561千円、その他が11,025千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定負債は155,765千円となり、前連結会計年度末に比べ12,590千円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が48,000千円減少した一方で、長期借入金が35,087千円、その他が25,458千円、それぞれ増加したことによるものです。この結果、負債合計は322,486千円となり、前連結会計年度末に比べ39,536千円減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,047,608千円となり、前連結会計年度に比べ72,182千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が67,350千円、為替換算調整勘定が4,831千円、それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

（退職給付制度の移行）

当社は、平成28年9月1日付で退職一時金制度から確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第2号 平成19年2月7日）を適用しております。

本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間の特別損失として2,941千円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,603,740	1,548,968
売掛金	90,567	158,848
製品	49,046	50,014
仕掛品	66,045	51,183
原材料及び貯蔵品	65,760	65,214
その他	12,715	30,074
流動資産合計	1,887,876	1,904,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	119,908	125,923
車両運搬具(純額)	—	264
工具、器具及び備品(純額)	16,235	19,317
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	5,697	11,627
有形固定資産合計	437,841	453,133
無形固定資産	2,642	5,141
投資その他の資産	9,089	7,516
固定資産合計	449,573	465,791
資産合計	2,337,450	2,370,095
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,388	9,827
1年内返済予定の長期借入金	53,376	56,004
未払法人税等	25,204	2,035
その他	109,879	98,853
流動負債合計	218,848	166,720
固定負債		
長期借入金	83,407	118,494
退職給付に係る負債	48,000	—
資産除去債務	2,893	2,938
その他	8,874	34,333
固定負債合計	143,174	155,765
負債合計	362,023	322,486

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229,186	2,229,186
資本剰余金	449,096	449,096
利益剰余金	△702,790	△635,439
株主資本合計	1,975,492	2,042,843
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△66	4,765
その他の包括利益累計額合計	△66	4,765
純資産合計	1,975,426	2,047,608
負債純資産合計	2,337,450	2,370,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	799,998	899,599
売上原価	271,692	283,880
売上総利益	528,306	615,718
販売費及び一般管理費	438,764	534,515
営業利益	89,541	81,202
営業外収益		
受取利息	50	8,157
その他	44	960
営業外収益合計	94	9,118
営業外費用		
支払利息	2,086	1,307
為替差損	2,902	16,709
営業外費用合計	4,988	18,016
経常利益	84,647	72,304
特別損失		
固定資産除却損	71	—
訴訟和解金	2,000	—
退職給付制度終了損	—	2,941
特別損失合計	2,071	2,941
税金等調整前四半期純利益	82,576	69,362
法人税、住民税及び事業税	11,400	2,011
法人税等合計	11,400	2,011
四半期純利益	71,176	67,350
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,176	67,350

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	71,176	67,350
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	616	4,831
その他の包括利益合計	616	4,831
四半期包括利益	71,792	72,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,792	72,182
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。